

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年 4 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (28年 2 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年 2 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年 2 月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常 2 月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<総合リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況【資料1参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸学院大学教育開発センターFD委員会 (2016年度までは、神戸学院大学教育開発センターFD部会) ・ 総合リハビリテーション学部FD委員会 ・ 神戸学院大学自己点検評価委員会 ・ 学部自己点検評価小委員会 <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合リハビリテーション学部FD委員会は原則毎月1回開催 (平成28年度は6回開催) 【資料2】 委員会は、理学療法学科、作業療法学科、社会リハビリテーション学科からそれぞれ1名ずつ選出された教員3名で構成されている。平成28年度は平成28年8月2日に第1回の委員会が開催され、第2回以降は、学部FD研修会が開催された時に委員会を開催した。平成28年度は6回開催し、全て、全委員が出席している。 ・ 自己点検評価小委員会は原則2か月に1回以上開催 (構成員3名以上) し、平成28年度は9回開催した。構成員は理学療法学科2名、作業療法学科3名、及び社会リハビリテーション学科2名の7名で構成されている。【資料3】 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合リハビリテーション学部FD委員会 「FD講演会、ワークショップ企画」「授業評価アンケート実施計画」「授業評価アンケート結果の公開と教員のコメントについて」「学生とFD委員との懇談会」「医療リハビリテーション学科実習指導者会議」「FD予算の割り当てによる学部FD活動の推進」 ・ 自己点検評価小委員会【資料3】 「2017年度に受ける大学評価のために、大学評価に関する自己点検資料の作成」「中期行動計画における中間報告書及び年次達成度報告書の作成」 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育開発センターFD部会主催のFDワークショップを開催した。【資料4】 ・ 教育開発センターFD部会ではセメスター終了直前 (7月及び1月) に授業改善アンケートを実施し、授業毎の結果を公表すると共に、評価結果に対する担当教員からのコメントを付している。平成26年度よりWEB上で公開している。平成28年度は7月と12月に授業改善アンケートを実施し、平成28年7月分を平成28年10月に、平成28年12月分を平成29年3月に公開した。【資料5】 ・ 総合リハビリテーション学部FD委員会ではFD講演会を6回開催した。【資料2】 ・ 作業療法学科において臨床実習施設の学生指導担当者とともに学生指導の質向上を図る臨床実習Ⅱ指導者会議を平成28年4月16日に、臨床実習Ⅰ指導者会議を平成28年12月17日に開催した。 ・ 理学療法学科において臨床実習施設の学生指導担当者とともに学生指導の質向上を図る臨床見学実習、臨床評価実習、理学療法臨床実習、実習指導者会議を平成29年2月25日に開催した。 ・ 学術誌「神戸学院総合リハビリテーション研究」の第12巻2号 (平成29年3月) に学部教員の論文及び当該年度における研究業績を記載した。

b 実施方法

- ・「授業評価アンケート結果及び評価結果に対する担当教員からのコメントの公開」については学部教員及び学生にWEB上で公開した。また、学術誌「神戸学院総合リハビリテーション研究」は同一学問領域の学部学科を有する大学等（約170校）及び学内に配布した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

総合リハビリテーション学部FD委員会主催のFD講演会、ワークショップを6回、教育開発センターFD部会主催のFDワークショップを1回、臨床実習指導者会議を3回実施した。テーマと教員の参加人数は以下のとおりである。

・FD講演会

平成28年度

第1回：日時 平成28年 9月 7日（水）

テーマ 「IPE(多職種連携教育)について-IPEについての再確認と、第2回FD講演会の講師の紹介-」

講師 宮崎清恵(社会リハビリテーション学科教授) 参加者 学部教員 33名

第2回：日時 平成28年9月21日（水）

テーマ 「IPEについて-即戦力となる人材育成のために：多職種連携教育におけるチャレンジと機会について-」

講師 モラーノ(ニューヨーク・ハンターカレッジ・オブ・ソーシャルワーク教授)

コーディネーター 清水亮教授(本学教育開発センター)

参加者 学部教員35名 薬学部教員 1名 栄養学部教員 3名 合計39名

第3回：日時 平成28年10月5日（水）

テーマ 「国家試験対策について」

講師 佐藤善久(東北福祉大学健康科学部リハビリテーション学科教授)

参加者 学部教員 37名

第4回：日時 平成28年10月24日（月）

テーマ 「国家試験対策～学生が主体的に対策を進めていくために～」

講師 中村 智(ハーベスト医療福祉専門学校教員)

参加者 学部教員4名 理学療法学科4回生全員、作業療法学科4回生全員

第5回：日時 平成28年12月17日（土）

テーマ 「臨床実習とハラスメント」

講師 本学ハラスメント相談室相談員

参加者 学部教員10名 作業療法臨床実習指導者20名

第6回：日時 平成29年2月25日（土）

テーマ 「臨床実習の展望と臨床実習指導者の実践課題について」

講師 小林 賢(慶應義塾大学附属病院リハビリテーション科理学療法士)

参加者 学部教員13名 理学療法臨床実習指導者84名

教育開発センターFD委員会主催：日時 平成28年9月16日（金）

講師 小林直人(愛媛大学学長特別補佐)

テーマ 「カリキュラムマップの作成」

学部よりの参加者 学部教員 7名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・昨年度の結果をもとに、本年度は学生も共に研修を受けることができるFD研修会を開催した。
- ・他学の国家試験対策を参考にして、国家試験対策のグループ学習に担当教員を決め、担当教員が指導するなどの改善を加えた。
- ・ハラスメントについて臨床実習指導者と本学教員がともに研修を受けることにより、共通の認識を持つことができた。
- ・IPEについても、今後の本学全体のIPEの基礎とすることができた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。実施時期は、各授業終了直前（7月及び12月）である。各授業毎の結果を公表すると共に、そこに評価結果に対する担当教員からのコメントを付している。平成26年度よりWEB上で公開している。平成28年度は7月と12月に授業評価アンケートを実施し、平成28年7月分を平成28年10月に、平成28年12月分を平成29年3月に公開している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員及び学生に対して、各授業毎の結果及び評価結果に対する担当教員からのコメントをWEB上で公開している。平成28年7月分を平成28年10月に、平成28年12月分を平成29年3月に公開した。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙・資料6参照

② 自己点検・評価報告書

【全学】

教育研究活動等の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を公表することを学則、大学院学則に規定している。

本学の自己点検・評価をつかさどる組織として、自己点検・評価に関する基本的な事項を審議し決定する自己点検評価委員会を設け、そのもとに各組織にかかる事項の自己点検・評価を実施し、当該報告書を作成するために、30以上の自己点検評価小委員会を置いている。さらに、自己点検・評価の内容等を第三者的な立場で検証するため、学外の学識経験者を構成員に含んだ自己点検評価結果検証委員会を設置するなど、体制を充実させ、積極的に自己点検・評価に取り組んでいる。

具体的には、平成24年度、法人創立100周年を機に平成25年度から5年間に実施する施策をまとめた「中期行動計画」の年度毎の進捗評価を、「年次達成度報告書」でもって行うことを自己点検評価委員会で決定し、自己点検・評価を実施している。

また、今年度は平成25年度から平成29年度の中期行動計画の最終年度にあたることから、次期「中期行動計画」策定に向けて、学内手続きを進めている。

なお、平成24年度の自己点検・評価をとりまとめた「2012年度改革・改善報告書」において、改革・改善が完了していない項目についても、「年次達成度報告書」でもって自己点検・評価を行った。

平成25年度以降も、毎年自己点検・評価を行っている。その結果については、翌年度に本学のホームページ上で公表を行っている。平成28年度の自己点検・評価の結果の公表については、次項のとおり公表を行う予定である。

【総合リハビリテーション学部】

総合リハビリテーション学部の所管する事項についての具体的な施策を、「中期行動計画」として定めた。

自己点検評価委員会との総合リハビリテーション学部自己点検評価小委員会にて、その実施状況等に関する自己点検・評価を行い、「年次中間報告書及び年次達成度報告書」としてまとめた。

平成29年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価が行われるため、点検・評価報告書を作成した。これらの点検・評価項目に従って、定期的に学部で検討を行う必要がある項目については、教授会等で検討を加えた。

a 公表（予定）時期

平成28年度の「年次達成度報告書」は、自己点検評価結果検証委員会において検証され、検証結果に基づき各自点検評価小委員会にて加筆・修正するなど学内手続きを経て、平成29年度内に公表する。

b 公表方法

大学ホームページ上で公表する

③ 認証評価を受ける計画

公益財団法人大学基準協会による大学認証評価を平成29年度に受審するため、平成29年1月13日に申請手続きを行い、平成29年3月31日に評価に関わる資料の提出を行った。

平成29年度においては、大学基準協会評価委員による書面評価を経て、実地調査が実施され、平成29年度内に評価結果が大学基準協会より示される。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(29年 7月 1日)